

令和 2 年第 6 回美唄市教育委員会会議録

- 1 と き 令和 2 年 3 月 23 日 (月)
午後 4 時 00 分～午後 4 時 43 分
- 2 ところ 教育委員会室
- 3 出席委員
天野教育長 高橋教育委員 齋藤教育委員 土肥教育委員 今野教育委員
- 4 説明員
森川教育部長 阿部学務課長 村上指導室長 高橋学務課長補佐
桜井学務課長補佐 日下学校給食センター所長
谷村生涯学習・スポーツ振興課長 谷川生涯学習・スポーツ振興課長補佐
青木総務係長
- 5 開会
高橋委員を署名委員に指名
会期を 1 日と決定
- 6 議件名

議案第 9 号	美唄市学校管理規則の一部改正の件
議案第 10 号	美唄市学校運営協議会規則の一部改正の件
議案第 11 号	美唄市教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則等の一部改正等の件
議案第 12 号	招致外国人講師就業規則の制定の件について
その他 1	美唄市教育委員会財務規程の一部改正について
その他 2	令和 2 年第 1 回市議会定例会一般質問について
その他 3	新型コロナウイルス感染症対策について

概要記録

16:00

●天野教育長 ただいまから、令和2年第6回美唄市教育委員会議を開会します。順序第1 会議録署名委員に、高橋委員を指名します。次に、順序第2 会期の決定につきましては、本日1日とします。次に、順序第3 教育長報告、行事報告・行事予定について、事務局から説明をお願いします。森川教育部長。

●森川教育部長 それでは、資料に基づきまして令和2年第2回教育委員会議以降の教育長の出席された行事報告等について、報告いたします。

※教育長報告（添付資料 別紙1）

※行事報告、行事予定説明（添付資料 別紙2）

●天野教育長 教育長報告、行事報告・行事予定について、事務局から説明がありましたが、何かご質問はありませんか。なければ、次に移ります。次に、順序第4 議案第9号 美唄市学校管理規則の一部改正の件について、事務局から説明をお願いします。

●阿部学務課長 私から議案第9号 美唄市学校管理規則の一部改正の件について説明いたします。本件は2点について改正がございます。1点目は学校教育法の一部を改正する法律に基づきまして、令和2年度から実施されます新学習指導要領を踏まえた教科用図書代替教材、いわゆるデジタル教科書でございますが、これらについて、学校管理規則の中で規定しようというものでございます。もう1点は、公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の一部を改正する法律が定められて、市内小中学校の教職員の在校等の上限時間を定めることが服務監督者である市町村に求められておりまして、これに基づく改正を行いたいと考えております。次のページを1枚めくっていただきまして、議案第9号 参考資料としていうところをご覧ください。新旧対照表で申し上げますと、第3条に用語の意義というところがありますが、ここに（7）教科書というのがありますが、教科書の次に（8）として教科用図書代替教材、いわゆるデジタル教科書があります。今年度及び令和2年度で整備を行いますので、これは、本格的な実施に向けての規定ということになります。（9）で準教科書、（10）で補助教材ということで規定をしています。今後、国のICT整備計画に基づきまして、来年度に関しましては、中学校のICT関連の整備ができるよう、予算措置をさせていただきましたので、その後の一人一台のパソコン整備に向けた取組をこの計画期間内に小学校、中学校あわせて実施していきたいということで、それらにあわせて学校管理規則の整備ということで考えております。次に、第3章 勤務時間、休暇等というところをご覧ください。在校等時間の上限ということで第12条

の2を新設したところでございます。在校等時間の上限というのは、教育職員、先生方が学校教育に関する業務を行なっている時間を指します。つまり、学校にいる時間ということで、時間外勤務を行っている時間を含み、自己研鑽時間を除くという定義になっていますけれど、ここは、難しいところがあり、自己研鑽、先生方が学校に残って勉強をしている時間を除くということになってはいますが、どこからどこまでが勤務時間でどこからどこまでが自己研鑽の時間ということがなかなか言えないと思います。通常の勤務の延長上の勤務なのか、時間外の勤務なのか区別をつけることは難しいですが、考え方としましては、在校している時間ということになります。これらは通常、勤務時間は、1日、7時間45分ということになりますが、7時間45分を超えた勤務時間の合計が1か月で45時間以内になるように、(2)のところで1年間で360時間というようになっています。次のページをご覧ください。次のページの2のところで教育委員会は教育職員が児童生徒等に係る通常予見することができない業務量の大幅な増加等に伴い、一時的又は突発的に所定の勤務時間外に勤務を行わざるを得ない場合には、(1)から(4)までの規定により1か月に月100時間未満と(2)については、1年間に720時間というような規定を法律に基づいて、学校管理規則の中で設けました。現実的には令和2年度の実態になります。あわせて令和3年度から1年単位の変形労働制を活用することになっており、1年間の業務量の多い月、少ない月を考慮して変形労働制を活用しなさいということになっています。令和4年度には、法律に基づいて市町村の実態について勤務時間の実態調査をすることになっております。調査を行う際には、タイムカードの記録や電子機器等で勤務時間を客観的な方法で教育委員会が把握することになっておりますので、既に導入している校務支援システムを利用して、4月からは先生方にきちんと記録していただくこととしています。実際のところ学校現場でいろいろとあると思いますので、学校現場で規則に書き込むだけではなく、実態的に時間外勤務がないように取り組む必要があると思います。在校等時間の上限だけを遵守するだけが目的とならないように自宅等への持ち込み業務時間が増加してはならないというのが大きな原則だと思いますので、それらを含めて時間外勤務の働き方改革に求められております時間外縮減に向け、この規則の改正を機会に努めてまいりたいと思っております。以上です。

●天野教育長 ただいま、事務局から説明がありましたが、委員の皆様から、何か質問等、ございませんか。質問がないようですので、採決に移ります。議案第9号 美唄市学校管理規則の一部改正の件について、ご同意いただけますか。

●各教育委員 はい。

●天野教育長 ご異議ないものと認め、議案第9号 美唄市学校管理規則の一部改正の件について、原案どおり可決といたします。次に議案第10号 美唄市学校運営協議会規

則の一部改正の件につきまして、事務局から説明をお願いします。

●高橋学務課長補佐 議案第10号 美唄市学校運営協議会規則の一部改正の件について、ご説明いたします。1ページめくっていただき、新旧対照表を見ながら説明をさせていただきます。本件につきましては、本年4月1日から施行されます地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の改正に伴い、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の条の枝番に異動があり、美唄市においても学校運営協議会の規則に定めていることから、その改正を受け、第1条で規定している条番号を改正するものです。施行期日につきましては、令和2年4月1日です。以上です。よろしくご審議の程、よろしくお願いします。

●天野教育長 ただいま、事務局から説明がありましたが、何かご質問等はございませんか。採決に移ります。議案第10号 美唄市学校運営協議会規則の一部改正の件について、ご同意いただけますか。

●各教育委員 はい。

●天野教育長 ご異議ないものと認め、議案第10号 美唄市学校運営協議会規則の一部改正の件について、原案どおり可決といたします。次に、議案第11号 美唄市教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則等の一部改正等の件について、事務局から説明をお願いします。

●阿部学務課長 議案第11号 美唄市教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則等の一部改正等の件についてご説明申し上げます。この規則につきましては、第1条から第5条まで規定をしています。5本の規則を改正又は廃止をしようというものでございます。始めに第1条でございますが、美唄市教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則の一部を改正しようとするものでございます。それから、第2条につきましては、美唄市立学校管理規則の一部改正しようとするものでございます。第3条につきましては、美唄市教育委員会事務局組織に関する規則の一部を改正しようとするものでございます。次のページをご覧ください。次のページでは規則を2本廃止にするというものでございます。第4条では市立幼稚園園則については廃止。第5条は美唄市立幼稚園保育料条例施行規則の廃止をしようというものでございます。これらにつきましては、いずれも令和2年4月1日から施行するものでございます。次のページ新旧対照表をご覧ください。始めに美唄市教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則の改正についてでございます。これにつきましては、第1条の教育委員会議決で議決の必要な職員の任免があります。基本的には管理職の任免についてですが、この内、幼稚園長を削除しようというものでございます。次に美唄市立学校管理規則の一部改正の件についてでございますが、旧の方で本則に有給欠勤というのがございまして、第17条にあります。これについま

しては、職員が給与を受けて勤務をしないことについて、市町村立学校職員の給与負担法に基づくとありますが、これと下の方に美唄市立幼稚園職員の給与及び旅費額並びに支給方法に関する条例によりまして、幼稚園教諭が有給欠勤、給与を受けて休暇を得る場合には、法律と道及び市の条例により、定められておりますが、栄幼稚園の廃止に伴い、美唄市立幼稚園職員の給与及び旅費額並びに支給方法に関する条例を廃止しましたので、これにあわせて規則を廃止しようというものでございます。次のページをめくっていただき、次に美唄市教育委員会事務局組織に関する規則の一部改正の件でございますが、旧の方、本則がありまして第5条第3項の学務課学校教育係で所掌している事務の内から、幼稚園に関して規定されている幼稚園の施設整備に関することや設置並びに廃止に関すること、予算並びに事務管理に関すること、といった業務を削除しようというものでございます。新旧対照表には載っておりませんが、第4条の幼稚園でいえば、学校管理規則にあたるものでございますが、市立幼稚園が全てなくなりますので、廃止をするものでございます。それから第5条の美唄市立幼稚園保育料条例施行規則ですが、幼稚園の保育料条例を廃止したことから、施行規則についても同様に廃止しようというものでございます。以上でございます。

●天野教育長 ただいま、事務局より説明がありましたが、何かご質問等はございませんか。それでは採決に移ります。議案第11号 美唄市教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則等の一部改正等の件について、ご同意いただけますか。

●各教育委員 はい。

●天野教育長 ご異議ないものと認め、議案第11号 美唄市教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則等の一部改正等の件について、原案どおり可決いたします。次に議案第12号 招致外国人講師就業規則の制定の件につきまして、事務局から説明をお願いします。

●桜井学務課長補佐 議案第12号 招致外国人講師就業規則の制定の件について、説明いたします。これまで美唄市で直接任用をしておりました、招致外国人青年について、就業規則がありましたが、地方公務員法並びに地方自治法の一部改正する法律の施行に伴い、正規職員以外のものにつきましては、会計年度任用職員制度というものが導入されることから、勤務条件等について制定をするものでございます。それでは、内容についてご説明いたします。第1条の趣旨についてですが、勤務条件について、別に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとしております。続いて第2条で定義について、第3条で外国人講師の職務について、記載のとおり定めています。第4条で報酬及びその計算方法について定めております。第5条では報酬の減額、有給休暇が付与されておりますが、付与日数を超えて休暇を取得した場合の給与の減額につい

て、定めています。第6条については、旅行に係る費用弁償、旅費関係について、続く第7条で勤務時間について、1日の勤務時間及び週休の勤務時間について定めております。第8条で補則としまして、この規則に定めるもののほか、必要な事項は教育長が別に定めるとしており、附則で招致外国人講師就業規則の制定に伴い、招致外国青年就業規則を廃止するとしております。以上です。

●天野教育長 ただいま、事務局から説明がありましたが、何かご質問等はございませんか。採決に移ります。議案第12号 招致外国人講師就業規則の制定の件について、ご同意いただけますか。

●各教育委員 はい。

●天野教育長 ご異議ないものと認め、議案第12号 招致外国人講師就業規則の制定の件について、原案どおり可決といたします。次に、その他1 美唄市教育委員会財務規程の一部改正について説明をお願いします。

●阿部学務課長 それでは、その他1 美唄市教育委員会財務規程の一部改正についてご説明をいたします。次のページをご覧ください。教育委員会財務規程についてですが、専決規定を定めていますが、新の方の事務の代決というところをご覧くださいと思います。教育長又は専決者不在で緊急を要する場合、次の者が代決できるとあります。基本的には財務規程なので、予算ということになります。予算を執行する場合に、例えば教育長が不在の時に第1番目として、教育部長が判を押して予算の執行ができます。第2番目として、それぞれの事務の担当課長が代決できるというものです。第2条の旧のところ各学校及び幼稚園、以下「学校」という規定がありますが、栄幼稚園が廃止になりますので、幼稚園に関して規定する部分を廃止するのが、1つです。それから下の方の表の1番下をご覧くださいなのですが、学校（園）の長の代決事項のところでは第1代決者として校（園）長代理と記載しておりますが、古い記載内容となっておりますので、整理をするもので新の方で、園長が廃止となりますので、教頭として表を修正しております。以上でございます。

●天野教育長 ただいま、事務局から説明がありましたが、委員の皆様から、何か、質問等、ございませんか。質問がないようですので、その他1について、終わります。次はその他2になりますが、その前に、その他3 新型コロナウイルス感染症対策について先に扱います。このことについて、事務局より説明をお願いします。森川教育部長。

●森川教育部長 新型コロナウイルス感染症対策の対応方針ということで、市の対策本部の決定内容について、概要を報告いたします。この中で教育委員会関係について、特に学校に係るものについてですが、資料の3のところになります。市立小中学校、幼稚園については、これまで3月17日までを臨時休業としておりましたが、24日、火

曜日まで延長することに決定をしております。実質、25日からは春休みとなりますので、子ども達は、4月5日まで学校に登校しないこととなります。ただし、分散登校を3月18日、23日、24日に行い、また、19日には規模を縮小しての小中学校の卒業式を行うこととしております。次に、その下の4、放課後児童施設・児童館についてですが、新型コロナウイルス感染症対策として、児童館は、3月17日まで休館でしたが、児童生徒が3月25日から4月5日まで春休みとなりますことから、4月5日まで休館とする変更をしております。次の資料につきましては、市の対応方針について、公共施設等の休館について表に示しております。以上、ご報告申し上げます。

●天野教育長 ただいま、事務局から説明がありましたが、何か、質問等、ございませんか。質問がないようですので、その他3について、終わります。次にその他2 令和2年第1回市議会定例会一般質問について事務局から報告をお願いします。森川教育部長。

●森川教育部長 その他2 令和2年第1回市議会定例会一般質問の概要について報告をいたします。まず、日程についてですが、新型コロナウイルス感染症対策対応ということで、日程が若干変更となっております。第1日目は3月2日、本会議が行われ、3月3日は議案審査が1日だけとなっております。また、6日に一般質問が1日だけ行われております。3月9日は常任委員会、11日は補正予算と当初予算の審査特別委員会が開かれ、予算審査特別委員会は、16日まで開催されました。3月18日が委員長報告作成日となっております。3月19日の本会議で終了となっております。教育委員会関連案件といたしましては、常任委員会で美唄市郷土史料館設置条例の一部改正の件について、提案をいたしましたが、3月19日の本会議におきまして、市長より提案した案件につきまして、検討する必要があると判断したことから撤回する旨の発言がありまして、本会議にて承認された旨の報告がありましたので、ご報告いたします。また、補正予算審査特別委員会において私立幼稚園施設型負担金給付事業、それから小中学校コンピュータ教育事業を提案いたしました。こちらについては、原案どおり可決されています。また、令和2年一般会計当初予算を提案いたしまして、これについても可決いただいております。また、3番目の一般質問につきましては、全部で4人の議員の方が一般質問に立ちまして、教育委員会関連については、3人の議員の方が一般質問に立っております。

(以下、別紙参照)

●天野教育長 ただいま事務局から報告がありましたが、何かご質問等はございませんか。以上で本日の議事については終了しましたが、他に何かございませんか。土肥委

員。

●土肥委員 川上議員の9ページの質問についてですが、5年前から議論がされていたとありますが、どの期間にどのような議論がされていたか教えてください。

●天野教育長 谷村生涯学習・スポーツ振興課長

●谷村生涯学習・スポーツ振興課長 こちらにつきましては、美唄市総合計画の後期基本計画が、平成28年度から令和2年度まで5年間の計画期間となっており、こちらの計画の中で郷土史料館については、通年会館についての取組をすることと、利用方法について見直しを行っていくということの記載があります。教育委員会の中に総合計画審議会があり、進捗状況を確認する場面がありますが、この審議会から、計画の記載内容について、どのようになっているかとの指摘がありましたが、財政的な問題があって進めることができませんでした。今回、最終年度ということもあり、通年開館に向けた設備の修繕及び条例改正を提案させていただいたところでございます。以上です。

●天野教育長 土肥委員。

●土肥委員 総合計画審議会でも議論されていたということですが、この審議会は、どのような人達で構成されているのですか。

●天野教育長 谷村生涯学習・スポーツ振興課長。

●谷村生涯学習・スポーツ振興課長 市民の中から選ばれ、3部会に分かれているのですが、教育関係に関しては第3部会というところで議論をいただいております。

●天野教育長 土肥委員。

●土肥委員 そちらについては、わかりました。先月の教育委員会会議でのことだったと思うのですが、郷土史料館の空調設備を整えるために5,500万円という予算を計上されていたので、それについて審議したと思いますが、また、郷土史料館の通年開館について、その理由について事務局から説明をいただいて納得したというところでしたが、その時に総合計画の中にそのような記載があるとは説明がなかった訳ですが、このことについては、私は市長から説明を聞く機会があり、耳にした訳ですが、それはどういったことなのでしょう。

●天野教育長 森川部長。

●森川部長 基本計画の中では、先程、説明をいたしましたように冬季閉館により、小中学校の児童生徒や市民に利用されないため、通年利用について検討を行うこととしておりました。谷村課長からありましたとおり、総合計画審議会から指摘があったとの答弁でしたが、事務局からご説明をさせていただきました際に、そのようなことが整理されておりませんでしたので、申し上げることができなく、大変、申し訳なく思っております。以上です。

●天野教育長 よろしいでしょうか。土肥委員。

●土肥委員 わかりました。それについては、異論がありませんが、郷土史料館について、審議会でそのような話があったということが、教育委員会議の場で一度も話しあわれた記憶がありません。既に予算について審議されている段階ですが、もう少し早くそのことに気が付いて、私達で、郷土史料館の向かうべき方向性について、話し合うべきだったと思っていますのですが、その疑問がどうしても払拭できません。

●天野教育長 森川教育部長。

●森川教育部長 総合基本計画については、それぞれの担当部局で協議をしながら進めているところです。基本計画を進める際に、ある程度進んだところで審議会に諮問なり、答申の手続きをする訳ですけれど、教育委員会内で事前に意見交換など行なったかどうかの経過について、この場で詳しくはわかりませんが、いずれにしても財政健全化計画の目処を見据えて、検討するべき時が来たのではないかとということで教育委員会議の中で説明をさせていただいております。教育委員さんとの情報共有につきましては、あまりなされていなかったように思いますので、今後そのようなことがないように努めてまいりたいと思います。

●天野教育長 よろしいでしょうか。この件について他にありませんか。他にないようですので、これで、その他2を終了いたします。以上で本日の議題について終了いたしますが、他に何かございませんか。なければこれをもちまして、令和2年第6回美唄市教育委員会議を閉会いたします。ありがとうございました。

16:43 終了

以上会議の顛末を記載し、その相違無いことを証するためここに署名する。

署名委員 高橋 泰 浄

別紙 1

教 育 長 報 告

自 令和 2 年 2 月 19 日

至 令和 2 年 3 月 22 日

区 分	会 議 等	
2月19日	第 2 回教育委員会議	教育委員室
20日	美唄市教育委員会表彰式	市長会議室
25日	チャレンジデー実行委員会	市長会議室
26日	第 3 回教育委員会議	教育長室
27日	「防犯ブザー」寄贈（株式会社岸本組）	教育長室
27日	学校職員人事評価面談	教育長室
3月 2日	令和 2 年第 1 回市議会定例会（～19 日）	議場ほか
3日	第 4 回教育委員会議	教育長室
4日	市町教育長会議	空知総合振興局
5日	第 5 回教育委員会議	
18日	「小学校卒業生に銘菓」寄贈（長栄堂）	教育長室
19日	学校職員人事評価面談（～24 日）	教育長室
20日	栄幼稚園閉園式・卒業式・修了式	栄幼稚園

上記のとおり報告する。

令和 2 年 3 月 23 日

美唄市教育委員会

教育長 天 野 政 俊

2 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	対 象
20	木				
21	金				
22	土				
23	日				
24	月				
25	火				
26	水	臨時校長会	14:00	第3会議室	関係者
27	木				
28	金				
29	土				

3 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	対 象
1	日				
2	月	臨時校長会	18:00	市長会議室	関係者
3	火	第12回定例校長・園長会議	9:30	第4会議室	関係者
		臨時校長会	18:30	第4会議室	関係者
4	水	第12回定例教頭・主幹教諭会議	9:30	第4会議室	関係者
5	木	臨時校長会	16:00	教育委員室	関係者
6	金	臨時校長会	16:00	第4会議室	関係者
7	土				
8	日				
9	月				
10	火				
11	水				
12	木	臨時校長会	18:00	教育委員室	関係者
13	金				
14	土				
15	日				
16	月				
17	火				
18	水				
19	木				
20	金				
21	土				
22	日				

4 月 行 事 予 定

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	所 管
1	水				
2	木	臨時校長会議		市役所	指導室
		転入教職員辞令交付式		市役所	学務課
3	金				
4	土				
5	日				
6	月	市内小中学校入学式		各学校	
7	火				
8	水				
9	木				
10	金				
11	土				
12	日				
13	月				
14	火				
15	水	第1回定例校長会議	9:30	第4会議室	指導室
16	木				
17	金	美唄市地域青少年指導員委嘱状交付式	14:00	市民会館	生涯学習・スポーツ振興課
18	土				
19	日				
20	月				
21	火	第1回青少年指導員・専任指導員会議	15:30	市長会議室	生涯学習・スポーツ振興課
22	水	第1回定例教頭会議	9:30	第4会議室	指導室
23	木				
24	金				
25	土				
26	日				
27	月				
28	火				
29	水				
30	木				

令和2年第1回市議会定例会

1 日程

会 期	月 日	曜日	会議別	事 項
第1日	3月2日	月	本会議	会期決定、市政執行方針・教育行政執行方針、各議案上程
第2～4日	3月3日～5日	火～木	休 会	議案審査
第5日	3月6日	金	本会議	一般質問
第6日・7日	3月7日・8日	土・日	休 会	
第8日	3月9日	月	休 会	常任委員会
第9日	3月10日	火	休 会	
第10日	3月11日	水	休 会	予算審査特別委員会（補正・当初）
第11日	3月12日	木	休 会	予算審査特別委員会（当初）
第12日	3月13日	金	休 会	予算審査特別委員会（当初）
第13・14日	3月14日・15日	土・日	休 会	
第15日	3月16日	月	休 会	予算審査特別委員会（当初）
第16日	3月17日	火	休 会	
第17日	3月18日	水	休 会	委員長報告作成日
第18日	3月19日	木	本会議	委員長報告、単行案件上程、意見書案上程等

2 教育委員会関連案件

【常任委員会】・美唄市郷土史料館設置条例の一部改正の件（3月19日付撤回承認）

【補正予算審査特別委員会】・私立幼稚園施設型給付費負担金給付事業 ・中学校コンピュータ教育事業

【予算審査特別委員会】・令和2年美唄市一般会計当初予算

3 一般質問

順序	会派	質問者	質問要旨	質問日
1	みずほ議員会	松山 教宗議員	1 美唄市総合計画について 2 地方創生について 3 都市計画行政について 4 環境行政について	3月6日
2	市民交流クラブ	齋藤久美夫議員	1 連携協定について＜教育長答弁＞ (1) 大学側との協議について	
3	令和議員会	川上 美樹議員	1 行財政運営について 2 商工業振興について 3 医療行政について 4 教育行政について＜教育長答弁＞ (1) サテライト・キャンパスについて (2) 郷土史料館について	
4	無 会 派	紫藤 政則議員	1 公契約における公正労働の担保について 2 市長選挙公約とマニフェストについて 3 刑事告訴事件について（2018.3.2）＜教育長答弁＞ (1) その後の経過について (2) 補助金の返還請求について (3) 告訴の取り下げについて	

令和2年第1回 定例会一般質問

齋藤 久美夫議員

教育委員会生涯学習・スポーツ振興課

件 名 1 札幌の3大学との連携協定解消について

中項目 (1) 大学側との協議について

質問内容

美唄サテライト・キャンパスについて、

- ①開始の経緯について伺います。また、講座については、
 - ②近年の実施状況及び人気のあったもの、
 - ③運営経費を含め、実施上の問題や課題等について伺いするとともに、協働事業についても、
 - ④近年の実施状況について伺います。あわせて、
 - ⑤これらの活動に対してどのようにお考えなのか
- 教育長に伺います。

答弁内容（教育長）

- ①美唄サテライト・キャンパスについて ありますが、美唄市民及び周辺の住民に大学の専門的な講座を受講する機会を確保することにより、今後のまちづくりや産業振興を担う人材を育成する目的で、平成24年度から札幌国際大学をはじめ、札幌大学経営学部、札幌大谷大学との連携協定を結び、講座の開設や協働事業などが始まったものでございます。

②次に、近年の講座実施状況及び人気のあった講座については、産業系人材養成講座、まちづくりを担う人材養成講座、市民教養講座の３種類の講座を提供していましたが、産業系では、北海道経済と本州経済の違いや、連携三大学の学長・副学長によるリレー講話、まちづくり系では、広報デザインや、文章力に関する講座、市民教養では、身近な法律学のほか、市外研修や歴史講座が人気のあった講座であります。近年の参加者の状況ですが、平成 29 年度は 10 講座で 203 人の方が参加され、平均 20.3 人でありましたが、平成 30 年度では、13 講座、218 人、平均 16.8 人、平成 31 年度では、12 講座、179 人、平均 14.9 人となっております。

③次に、運営経費を含め、問題点や課題等についてであります。事業に係る経費については、約 100 万円程度で市及び商工会議所からの 5 万円の負担金と南空知市町村圏組合から 50 万円ほどの負担金のほか、受講料収入で賄っておりましたが、受講者の確保やニーズにあった講座開催が課題となっております。

④協働事業については、近年の状況で申しますと、高齢者のまちづくり事業では、札幌大谷大学の学生が、地域に入り、地域住民から生活するうえで不便に感じていることや地域のつながりなどを調査していました。地域インターンシップ事業として、食をテーマにした聞き取り調査については、

中村のエプロン倶楽部や気ままな主婦の会など

市内の女性起業家を中心に、聞き取り調査を行い、

調査結果を卒業論文としてまとめていました。

既存施設を改修する合宿施設を活用したクラブ合宿を

誘致事業では、トマーレ美唄を活用しスポーツ合宿誘致として、

平成 28 年度から毎年、札幌国際大学男子バスケットボール部が

美唄市総合体育館で 3 月下旬に実施しており、

合宿期間中は小中学生等を対象とした

バスケットボールクリニックを行い、

市内の子どもたちとの交流も行われていました。

⑤この他にも、がんばれ美術の時間オオタニアートキャラバンでは、

これまで 8 小中学校で開催されたほか、

幼稚園や保育所、高齢者施設などでのふれあいコンサートなどの

協働事業を実施し、多くの学生が美唄の子どもたちなどとの

触れ合いを持つ機会となり、あわせて、

フィールド調査などに美唄市を活用していただくなど、

美唄市にとっても大学にとっても

有益な事業であったと考えているところであります。

令和2年第1回 定例会一般質問

川上 美樹議員

教育委員会生涯学習・スポーツ振興課

件 名 4 教育行政について

中項目 (1) サテライト・キャンパスについて

質問内容

サテライト・キャンパスの始めは、以前からご協力を頂いていた、札幌国際大学との連携を強め、協働した取組みを継続して行っていくため、桜井元市長と大学が、平成21年7月に、連携協定を締結した事から今日に至るまで、多くの講座が開かれていました。

しかし、令和2年2月18日火曜日の北海道新聞朝刊には、4月からのサテライト・キャンパス事業の終了だけでなく、各大学との協定についても解消すると掲載がありました。

そこで、次の点について、市長ならびに教育長に、お伺いを致します。

まず一つ目に、「今までの取組みと成果について」はどのようなものだったのか、このことについては教育長にお伺いを致します。

答弁内容

(サテライト・キャンパスについて) ではありますが、

この事業は、平成24年度から講座の開催と地域と大学との連携による協働事業を実施し今年度で8年となりました。

8年間で講座は、102回開催し、延べ1,847名の方が参加しまし

た。協働事業は、57 の事業を実施し、大学生や児童生徒など、あわせて5,213 名が関わりました。

講座の状況については、当初は1 講座平均約 20 名の参加がありましたが、年々減少傾向にあり、講座内容や実施回数など、受講しやすい構成を目指しましたが、今年度においては約 15 名となり、講座運営について課題の残るものとなりました。

協働事業については、主なものとして、尚栄高校への出前授業を毎年実施し、生徒たちが大学の専門的な授業を受けることができたほか、札幌大谷大学により、「がんばれ美術の時間オオタニアートキャラバン in 美唄」を、平成 26 年度から 6 年間で 8 小中学校にわたり実施し、延べ 215 名の大学生などが、632 名の児童生徒と一緒に事業を行い、子どもたちの感性が助長され、美術教師に採用された大学生もいたと聞いております。また、札幌国際大学とでは、保育所、幼稚園や老人福祉施設でのふれあいコンサートを平成 26 年度から平成 30 年度まで実施し、4 年間で 22 施設、延べ 1,184 名の子どもたちや施設入所者へ音楽を届けて、それぞれ成果があったものと考えているところであります。

令和２年 第１回 定例会一般質問

川上 美樹議員

教育委員会生涯学習・スポーツ振興課

件 名 4 教育行政について

中項目 (2) 郷土史料館について

質問内容

郷土史料館の昨年までの利用状況、入館者数（わかるのであれば年齢別・月別）、入場料と、健全化計画以前の通年で開館していた時の利用状況を、お聞きします。

また、どういう議論を経て、こうなったのかお聞きします。

答弁内容

（郷土史料館の利用状況と議論経過について）であります。

冬季閉館を始める前年の平成２０年度では、総入館者数 2,527 人で、うち幼児が 126 人、小中学生が 742 人、高校生上の大人が 1,659 人でした。

平成３０年度は、総入館者数 2,383 人で、うち幼児が 179 人、小中学生が 453 人、高校生上の大人が 1,751 人でした。

それぞれ入館者数を比較すると、開館期間が 12 か月から 6 か月と半分になっておりますが、ほぼ同数程度の入館となっており、依然として、一定の利用があるものと考えております。

また、平成２０年からの入館者のうち、１１月から翌年４月までの冬期間の入館者は 884 人で、冬期間にも郷土史を学ぶ小学生が授業で入館するなど、利用されておりました。

入館料は、平成20年度が232,040円、平成30年度が152,060円となっております。

近年は、こども絵画展やなつかしの映画の上映など、入館無料の事業への利用もあり、一部、有料入館者の利用にもつながってはいるものの、入館料の減少傾向がみられます。

冬季閉館となった議論経過については、平成20年度に、財政健全化計画を策定するなかで、利用人数の減少などを理由に、郷土史料館の運用を検討することとなり、設備の老朽化対策のため、予算のねん出も難しい時期でもあったことから、冬季閉館を決めたものです。

令和 2 年 第 1 回 定例会一般質問

川上 美樹議員

再質問

教育委員会生涯学習・スポーツ振興課

件 名 4 教育行政について

中項目 (2) 郷土史料館について

質問内容

郷土史料館の通年開館と無償化について、健全化計画中に冬季間の閉鎖を行い、施設整備費も抑えてきましたが、なぜこの時期に通年開館にして無償化する判断をしたのか、お聞きします。

答弁内容

(郷土史料館の通年開館と入館料の無料化について) であります
が、

郷土史料館については、我々の偉大な先人である美唄市民の熱意によって、半世紀前の「開拓郷土資料室」の設置、さらには 40 年前の開基 90 年、市制施行 30 年の記念事業として、郷土史料館が建設された経緯があります。

次に、総合計画での位置づけであります。郷土史料館の通年開館、無償化について、第 6 期美唄市総合計画「美唄未来交響プラン」後期基本計画（平成 28 年度から 32 年度版）ですが、「第 2 章 人と文化をはぐくみ交流が広がるまちづくり、（9）芸術・文化・生涯学習、第 2 歴史・文化財等の伝承と活用の、課題と施策と方向性」として、「郷土史料館については、冬季閉館により小中学校や市民利用の要請に十分応えられていないため、通年開館に向けて検討するとともに、郷土の歴史や自然などを学ぶ場所として利用が広

がるように、利用方法等について見直しを図ります。」と位置付けられております。

このように、5年以前より議論され、計画に位置付けられておりました。

郷土史料館の取り組みとして、令和2年度より地域に根ざし、暮らしに学ぶまちづくりの一環として、郷土史料などを活用しながら、子どもたちに、住んでいるまち美唄に対する誇りや愛着を育むとともに、市民との協働により、美唄の歴史や美唄の良さ、それらの再発見につなげる活動などを進めることを考えております。

そのため、市民のみなさんが、情報を持ち寄り、共に語らい、自らが「地域の宝」となる文化財や貴重な史料、記憶や情報などを認識し、将来の子どもたちや市民に伝えていく環境を整えるため、郷土史料館を拠点施設と位置付け、通年開館できるよう空調設備を整備し、併せて入館料の無償化についても、総合計画の最終年度に提案させていただいたところでございます。

令和2年第1回定例会一般質問

紫藤 政則議員

教育委員会生涯学習・スポーツ振興課

件 名 3 刑事告訴事件について（2018. 3. 2）

中項目 (1) その後の経過について

質問内容

昨年12月の第4回定例会市議会以降の動きについてどう把握しているか伺う。

答弁内容

（その後の経過について）であります。

担当職員からの報告によりますと、本年3月2日に、検察庁へ書類送付したことを確認しました。

今後は、検察庁において捜査されるものと考えているところであります。

令和 2 年 第 1 回 定例会一般質問

紫藤 政則議員

教育委員会生涯学習・スポーツ振興課

件 名 3 刑事告訴事件について (2018. 3. 2)

中項目 (2) 補助金の返還請求について

質問内容

これまで「市民劇場が知りえないのに、市民劇場の名称を使って補助申請した」ことを返還請求できない理由としているが、なぜ、そうなのか。なぜ、財産の保全ができないのか、法令上の根拠を明らかにしてほしい。

答弁内容

(補助金の返還請求について) であります。

このほど、私の指示のもと、これまでの経過について、再確認したところ、調査を実施した平成 30 年 2 月の時点で、美唄市民劇場は既に解散しており、返還請求先が消滅していることが確認されたとともに、平成 26 年 9 月 30 日付けで補助金等確定通知書が出されていたことから、地方自治法第 236 条による時効が令和元年 9 月 30 日をもって成立していたことも確認されたところであります。このことから、債権保全はできないものと考えております。

令和2年第1回定例会一般質問

紫藤 政則議員

再質問

教育委員会生涯学習・スポーツ振興課

件 名 3 刑事告訴事件について（2018. 3. 2）

中項目 (2) 補助金の返還請求について

質問内容

市の職員として、市の財産を保全し、しっかりと不正があれば取り戻す。今回の手順手続きでは、職員の職務怠慢を問われても、仕方がないものと思うが、このことに関して、どの様な認識をお持ちか。改めて、市長と教育長に職員の職務怠慢についての認識について、お伺いしたいと思います。

答弁内容

（補助金の返還請求について）であります、

ご意見を、強く、真摯に受け止め、今後の教育事務の執行に努めてまいりたいと考えております。

併せて、美唄市の生涯学習、社会教育が一層充実するように、取り組んでまいりたいと思います。

令和2年 第1回 定例会一般質問

紫藤 政則議員

教育委員会生涯学習・スポーツ振興課

件 名 3 刑事告訴事件について (2018. 3. 2)

中項目 (3) 告訴の取り下げについて

質問内容

不正受給したとされる補助金相当分を返還させたうえで、告訴を取り下げることが賢明な対応と考えるかどうか。

答弁内容

(告訴の取り下げについて) ではありますが、
告訴状が検察庁へ送付されていることから、当面、その経過を見極めながら適切に対応してまいりたいと考えております。